平成 30 年度中心市街地活性化関連予算について
(実現すべき予算・税制・制度改正等における予算事項)

文部科学省

平成 30 年度予算額 (平成 29 年度予算額)

中心市街地活性化事業の強力な推進
(少子高齢化にも対応した多様な機能の整備)

1 公立文教施設の整備 68,194 百万円の内数 (69,013 百万円の内数)

公立学校施設の老朽化対策や防災機能の強化を進め、災害時に地域住民の避難所としての役割を果たす上での安全性等を確保するとともに、総合的な地域スポーツセンター等の整備について交付金等による支援を行う。

地域事情を反映した多様なまちづくりの支援
(中心市街地を活性化させる文化芸術活動)

1	<u>劇場・音楽堂等機能強化推進事業</u>	2,799 百万円 (2,931 百万円)
2	<u>国際文化芸術発信拠点形成事業</u>	1,250 百万円 (新規)
3	<u>文化芸術創造拠点形成事業</u>	2,312 百万円 (2,460 百万円)
4	<u>国宝・重要文化財建造物保存修理強化対策事業</u>	11,004 百万円の内数 (8,805 百万円)
5	<u>歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業等</u>	7,115 百万円 (7,087 百万円)
6	<u>地域の美術館・歴史博物館を中核とした文化クラスター形成事業</u>	1,248 百万円 (新規)
7	<u>文化遺産総合活用推進事業</u>	1,873 百万円 (1,909 百万円)
8	<u>伝統的建造物群基盤強化</u>	1,753 百万円 (1,523 百万円)
9	<u>日本遺産魅力発信推進事業</u>	1,336 百万円 (1,350 百万円)
10	<u>博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業</u>	31 百万円 (23 百万円)

中心市街地を含む地域を活性化させるため、各地域の文化芸術資源、劇場、音楽堂等、美術館・歴史博物館及び文化財等を活用した様々な文化芸術活動を支援するための事業等を実施する。